

# 集中豪雨各地に大被害

25/6/7

西日本を中心に襲った集中豪雨は、各地に大きな被害をもたらした。死者267人、行方不明95人、負傷者460人に達し、特に広島、長崎、佐賀、兵庫に被害が集中した。そしてこの集中豪雨は「42年7月豪雨」と名づけられた。

なかでも神戸市の被害は大きかった。葺合区市ヶ原を襲った山津波は一瞬のうちに21人をのみこみ、平和だった部落はまったく土砂の中に埋ってしまった。この山津波は、ゴルフ場の造成の不完全さが原因で起こったものといわれるだけに大きな問題を残した。

## —今週の焦点—

# 都電のゆくえ

33/6/7

赤字続きで東京都交通局は「火の車」です。

陸上交通の主役が都電から地下鉄、鉄道、バスへと移り、今では都電を利用する人はめっきり少なくなってしまいました。

維持費や人件費ばかり高くて、とうてい少ない収入ではまかないきれない状態です。

その結果が1キロ走れば69円、1人お客を乗せれば9円の損失、そして累積した赤字は300億円にも達しました。

そこで、美濃部さんはさっそく都電の現状を視察にでかけました。

都電は撤廃すべきか、それとも残すべきか。

まずは都電の現状を見てみましょう。